

# 中国武術の現在と「道」の精神

鄭旭旭

中国・集美大学

キーワード： 舞踊、伝統武術、武道、道

## 抄 録

本稿の課題は右の三点である。(1)中国武術全体の概要と最近の問題点を紹介した。(2)中国武術の本質的属性と思われる「戦う」思想的要素を、特に舞踊の「美しさ」との比較において検討した。(3)中国武術の将来について「道」の思想との関係を考察した。各考察内容は以下の通りである。なお、本稿は、訪問学者として早稲田大学スポーツ科学学術院に滞在した 2007 年 1 月に、学部生に対して行った特別講座「中国武術の形式的特徴と精神」の講義ノートを加筆したものである。

1. 教育・研究、学校・国際連盟・選手権、中国武術の三形式(健康武術、競技武術、伝統武術)について紹介した。また、北京オリンピックを巡る近年の問題、特に、競技武術がもたらす弊害及び伝統武術性が蘇る現在の傾向について解説した。
2. 戦国時代の出土品(壺)「燕楽射獵水陸攻戦紋銅壺」の波紋の下に見える人物像を分析し、舞踊と武術の本質的属性の違いについて考察した。
3. 中国武術の身体運動としての多様性は、競技スポーツとして、健康とレクリエーションの手段、また警察官の逮捕術としてなど様々な分野で幅広く応用できる。しかしこれらはあくまでも“応用”の事柄であり、武術の持つ本質は、中国文化のひとつとして「道」を追求すべきだと考える武術家も少なくない。筆者は、老荘の古典、及び中国の古典に見える言葉を用いて考察し、武術の最終目標としての「道」の境地を目指すべきであると結論した。

スポーツ科学研究, 5, 128-136, 2008 年, 受付日:2008 年 2 月 13 日, 受理日:2008 年 6 月 3 日  
連絡先: 志々田文明 早稲田大学スポーツ科学学術院 359-1192 埼玉県所沢市三ヶ島 2-579-15  
E-mail: [fuzanaoi@waseda.jp](mailto:fuzanaoi@waseda.jp)